

## 今年度調査成果の概要

### なかだ 仲田遺跡 (中頸城郡板倉町大字熊川字仲田)

仲田遺跡は、頸城平野の南東端、関田山地に源を発する別所川・大熊川によって形成された扇状地の末端に立地します。北陸新幹線の建設に伴い平成14年9月～12月に調査した結果、川辺に築かれた中世前期（11～13世紀）の集落跡であることが明らかになりました。

遺構は、溝13条、掘立柱建物31棟、井戸76基、土坑46基、柱穴2,466基などが検出されました。溝は、東西南北方向に設けられた区画であり、これに沿うように掘立柱建物が整然と配置されています。したがって、建物は東西あるいは南北に面するように建てられています。掘立柱建物には、いくつかのタイプが認められますが、同一のタイプが3～5棟、重複して検出されました。これは、同一の地点に同程度の建物を繰り返し建て替えた結果と考えられます。

井戸状の遺構は、深さが1～2.4mほどと様々であり、すべてが井戸として機能したかは明らかではありません。そのほとんどは人為的に埋め戻されている可能性が高く、古い井戸を埋めては、新しい井戸を掘ること



溝に囲まれた中世の屋敷跡



を繰り返していたようです。中には、古銭や完全な形の灯明皿<sup>とうみょうざら</sup>が出土することがあり、埋め戻し時に祭祀を行った可能性があります。井戸の構造は、ほとんどが円形や方形の素掘りですが、石組みの井戸が2基検出されています。うち1基は、底部から開口部まで直径20～40cmほどの川原石を幾重にも積み重ねられた良好な状態で検出されました。壁面の補強と地下水の濾過を目的として構築された井戸と考えられます。なお、石組みの井戸は、遺跡で最も新しい段階、15世紀頃に構築されたものとみられます。

遺物は、主に井戸の底から出土しました。中国から輸入された磁器（青磁・白磁・青白磁）の碗や皿、能登半島の先端で焼かれた珠洲焼<sup>すずやき</sup>の甕・壺<sup>かめ</sup>・搦鉢<sup>すりばち</sup>、素焼きの灯明皿といった土器のほか、木製遺物の出土が注目されます。碗、皿、曲物<sup>くわえ</sup>、鋤の柄、杵、錐状の工具、下駄、櫛、箸、縄など生活に密着した多様な道具や、建築部材が出土しました。碗や皿の中には、黒漆や赤漆が塗布された碗などの優品も存在します。

これら検出された遺構と遺物を検討したところ、集落が大きく3～4時期にわたって築かれたことがわかりました。中世集落の遷り変わる様子を窺い知ることができる貴重な事例といえ、今後の研究に多くの情報をもたらすものと期待されます。

（加藤 学）



調査区近景



溝に囲まれた掘立柱建物



石組井戸



屋敷を区画した溝



井戸に供えられた灯明皿



井戸の底部から出土した曲物

## 遺跡発掘調査報告会開催される！

去る3月2日、新潟ユニゾンプラザにおいて、第10回遺跡発掘調査報告会が開催されました。平成5年度から始まった報告会も今年度で10回目という節目を迎えましたが、好天に恵まれたこともあり、550名を超える方々にお出でいただき、大盛況のうちに会を終了することができました。報告会では、今年度に本格的な調査を行った5遺跡について、調査担当者よりスライドを交えた詳しい説明があった後、参加者の方々との質疑応答を行いました。報告遺跡は、浦廻遺跡（白根市）…中世の民衆葬送に関連した遺跡、下沖北遺跡（柏崎市）…中世の溝と建物群が確認された遺跡、下割遺跡（上越市）…中世の道や井戸、建物が確認された遺跡、仲田遺跡（中頸城郡板倉町）…川辺に築かれた中世の集落跡が確認された遺跡、道端遺跡（岩船郡荒川町）…低地で確認された縄文時代後期～晩期の遺跡です。参加者の方々からは、熱心な質問が次々と飛び出し、遺跡や考古学に対する関心の高さをうかがうことができました。また、報告会と併設して行われた1階イベント広場の出土品展にも、大勢の方々が詰め掛け、終日賑わいをみせていました。来年度の報告会につきましては、会場、期日等が決まりましたら、広報誌や事業団ホームページでお知らせいたしますので、ご参加をお待ちしております。また、報告会で展示されました遺物やパネル類につきましては、4月より新津市金津にあります新潟県埋蔵文化財センターで展示を行っておりますので、こちらへも是非、足をお運び下さい。

熱心に見学する参加者



報告会会場の様子



出土品展の様子



## ホームページが生まれ変わりました!!

平成12年8月1日に開設して以来、多くの方々に利用されてきた事業団のホームページがこの度、内容を一新しました。また、内容のリニューアルに合わせてプロバイダの変更も行いましたので、ホームページ並びにE・メールのアドレスも変更になりました。新しいアドレスは下記のとおりですので、是非、内容が一新されたホームページをご覧になってみて下さい。

今回の改訂では、画像を大幅に増やすと同時に、学校教育でも利用していただけるよう、新たに『まいぶんちゃんの歴史教室』、『発見！にいがたのむかし』というコーナーを設けました。また、『発掘調査ガイド』、『リンク集』などのコーナーも新設しましたので、今まで以上のご利用をお待ちしています。

ホームページURL…<http://www.maibun.net> メールアドレス…[niigata@maibun.net](mailto:niigata@maibun.net)



リニューアルされた事業団のホームページ（トップページ）



# 平成14年度発掘調査一覧〈新潟県埋蔵文化財調査事業団関連〉

## I 発掘調査（2次調査）

| 事業            |                                         | 遺跡名 | 所在地        | 調査期間       | 調査面積   |            | 時代                                  | 遺構、遺物                                               | 備考        |
|---------------|-----------------------------------------|-----|------------|------------|--------|------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------|
|               |                                         |     |            |            | 対象(㎡)  | 調査(㎡)      |                                     |                                                     |           |
| 公道<br>団路      | 日東<br>道端                                | 荒川町 | 4/18～10/31 | 9,800      | 11,000 | 縄文時代       | 縄文土器・石器(石鏃・石匙・磨石)                   | 13・14年度継続発掘                                         |           |
|               |                                         | 小計  |            | 9,800      | 11,000 | 古墳時代(前・後期) | 土師器                                 | 13・14年度報告書刊行                                        |           |
| 公鉄<br>団建      | 北陸<br>仲田                                | 板倉町 | 9/～12/     | 5,100      | 5,100  | 中世(含古代)    | 堀・溝・掘立柱建物・井戸・木器<br>土師器・珠洲・舶載陶磁・墨書土器 | 15年度報告書刊行予定                                         |           |
|               |                                         | 小計  |            | 5,100      | 5,100  |            |                                     |                                                     |           |
| 国土<br>交通<br>省 | 上越<br>三和<br>道<br>柏崎<br>B P<br>白根<br>B P | 下割  | 上越市        | 4/11～10/11 | 6,500  | 6,500      | 中世                                  | 堀・掘立柱建物・道状遺構・井戸<br>柱根・曲物・箸・刀子・銭貨<br>土師器・須恵器・珠洲焼     | 14年度報告書刊行 |
|               |                                         | 下沖北 | 柏崎市        | 4/10～10/31 | 6,500  | 6,500      | 中世                                  | 堀・掘立柱建物・堅穴・井戸<br>中近世陶磁器(土師質土器・珠洲・<br>舶載陶磁)・石鍋・石臼・鉄滓 | 14年度報告書刊行 |
|               |                                         | 浦廻  | 白根市        | 4/～10/     | 6,800  | 6,800      | 中世                                  | 土坑・畝状遺構・人骨・犬骨<br>木器多数(卒塔婆・呪符・行火<br>檜扇・下駄・杓子・漆椀・漆盤等) | 14年度報告書刊行 |
|               |                                         | 小計  |            |            | 19,800 | 19,800     |                                     |                                                     |           |
|               |                                         | 総計  |            |            | 34,700 | 35,900     |                                     |                                                     |           |

## II 発掘調査（1次調査）

| 事業             |              |               | 遺跡名              | 所在地                      | 調査期間            | 調査面積    |               | 時代及び2次調査対象面積 |              |             | 備考     |
|----------------|--------------|---------------|------------------|--------------------------|-----------------|---------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------|
|                |              |               |                  |                          |                 | 対象 (㎡)  | 調査 (㎡)        | 時代           | 2次調査対象面積 (㎡) | 包含層         |        |
| 日本<br>道路<br>公団 | 日本海沿岸東北自動車道  | 中条く<br>荒川     | 福田遺跡             | 中条町                      | 4/8～26          | 27,000  | 1,328         | 古墳           | 9,880        | 1           | 福田遺跡   |
|                |              |               | 推定地4             | 中条町                      | 5/7～14          | 12,430  | 598           |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 道端遺跡             | 荒川町                      | 4/8～26          | 8,940   | 691           | 縄文・古墳        | 67,700       | 2           | 道端遺跡   |
|                |              |               | 区間小計             |                          |                 | 48,370  | 2,617         |              | 77,580       |             | 二次調査不要 |
|                |              | 荒川<br>く<br>村上 | 道端遺跡             | 荒川町                      | 5/7～7/31        | 62,200  | 2,538         | 古代           | 8,810        | 1           | 中曽根遺跡  |
|                |              |               | 推定地10            | 荒川町                      | 8/1～9・11/18～21  | 22,120  | 802           | 古代           | 2,670        | 1           | 桜林遺跡   |
|                |              |               | 推定地11            | 荒川町                      | 5/20～24         | 11,200  | 494           |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 推定地12中条側         | 荒川町                      | 6/10～13         | 13,600  | 458           |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 推定地12荒川側         | 荒川町                      | 6/10～13         | 7,200   | 242           |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 西部遺跡             | 神林村                      | 10/15～11/15     | 74,920  | 2,691         | 古代           | 30,800       | 1           | 西部遺跡   |
|                |              |               |                  |                          |                 | 弥生      | 3,620         | 1            | 中部北遺跡        |             |        |
|                |              |               | 田屋道遺跡            | 神林村                      | 8/19～10/11      | 46,430  | 2,689         | 中・近世         | 16,730       | 1           | 窪田遺跡   |
|                |              |               |                  |                          | 6/17～7/5・9/2～18 | 52,260  | 2,495         | 中世           | 3,440        | 1           | 松蔭遺跡   |
|                |              |               |                  |                          |                 |         |               | 中世           | 8,180        | 1           | 田屋道遺跡  |
|                |              |               |                  |                          |                 | 推定地1    | 神林村           | 7/22～8/5     | 21,440       | 1,025       |        |
|                |              |               | 推定地2             | 神林村                      | 8/8・9・19～23     | 29,440  | 577           | 古代           | 80           | 1           | 宮の腰遺跡  |
|                |              |               | 推定地3             | 神林村                      | 9/24～26         | 12,850  | 144           |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 推定地4             | 神林村                      | 9/30～10/24      | 38,500  | 1,523         |              |              |             | 二次調査不要 |
|                |              |               | 区間小計             |                          |                 | 392,160 | 15,678        |              | 74,330       |             |        |
|                |              |               | 小計               |                          |                 | 440,530 | 18,295        |              | 151,910      |             |        |
| 鉄建<br>公団       | 北陸新幹線        | 田海側右岸         | 青海町              | 5/27                     | 1,400           | 37      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                |              | 梶屋敷地内         | 糸魚川市             | 5/28                     | 1,100           | 37      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                |              | 飯山トナ坑口        | 板倉町              | 6/3                      | 1,930           | 44      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                |              | 米増・熊川新田間      | 板倉町              | 6/3～6/11・6/19            | 17,500          | 338     | 古代            | 10,790       | 1            | 五反田遺跡・仲田遺跡  |        |
|                |              | 上新工区          | 上越市              | 6/12～6/14                | 7,270           | 172     | 古墳・古代         | 2,140        | 1            | 畧ノ上遺跡・台の上遺跡 |        |
|                |              | 桂道土捨場         | 能生町              | 9/30                     | 29,000          | 345     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                |              | 小計            |                  | 58,200                   | 973             |         | 12,930        |              |              |             |        |
| 国土<br>交通<br>省  | R 8 柏崎B P    | 豊田橋右岸         | 柏崎市              | 4/8～9                    | 1,300           | 105     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 253 上越三和道路 | 米岡地区<br>下割遺跡  | 上越市              | 4/15～5/8                 | 24,150          | 629     | (縄文)<br>古墳・中世 | 62,400       | 2～3          | 下割遺跡        |        |
|                | R 253 上越三和道路 | 上広田地区         | 上越市              | 5/9～22                   | 34,500          | 628     | 古代            | 9,000        | 1            | 古屋敷割遺跡      |        |
|                | R 8 糸魚川東B P  | 大和川地区         | 糸魚川市             | 6/24～27                  | 5,300           | 93      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 113 鷹ノ巣道路  | 沼地区           | 関川村              | 7/15～23                  | 32,000          | 350     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 253 八箇峠道路  | 八箇T n 坑口      | 六日町              | 8/5～8                    | 9,180           | 179     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 17 六日町B P  | 余川中道遺跡        | 六日町              | 8/19～26                  | 14,500          | 325     | 古墳・古代         | 18,600       | 1～2          | 余川中道遺跡      |        |
|                | R 8 白根B P    | 田中・箕口区間       | 白根市              | 9/2～4・9/12               | 44,000          | 345     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 116 新潟西B P | 新潟西IC改良<br>地  | 新潟市              | 9/9                      | 8,550           | 146     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 8 柏崎B P    | 下沖北遺跡隣接<br>地  | 柏崎市              | 10/3～4                   | 3,100           | 64      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 253 上越三和道路 | 下割遺跡下層        | 上越市              | 10/7～8                   | 6,500           | 77      |               |              |              | 二次調査不要      |        |
|                | R 113 荒川道路   |               | 荒川町              | 10/15～30・12/9～13・3/10～14 | 209,300         | 1,807   |               |              |              | 調査中         |        |
|                | R 253 八箇峠道路  | 野田地内          | 六日町              | 11/5～6                   | 20,670          | 127     |               |              |              | 二次調査不要      |        |
| R 8 柏崎B P      | 豊田橋左岸        | 柏崎市           | 11/11～12/6・3/3～7 | 48,000                   | 1,149           | 古代・中世   | 12,960        | 2            | 東原町遺跡(試掘調査中) |             |        |
| 小計             |              |               |                  | 461,050                  | 6,024           |         | 102,960       |              |              |             |        |
| 総計             |              |               |                  | 959,780                  | 25,292          |         | 267,800       |              |              |             |        |

## 平成14年度の整理作業

未報告遺跡の通年整理作業は、担当職員5名と嘱託員41名の体制（含分室）で、青田遺跡・沖ノ羽遺跡（C地区）・円山遺跡・関川谷内遺跡（B地区）・北野遺跡（下層）・上浦遺跡・赤坂山中世窯跡（含赤坂山B遺跡）・堀向瓦窯跡の8遺跡について実施しました。また、平成14年度に発掘調査した5遺跡（道端遺跡・下沖北遺跡・下割遺跡・浦廻遺跡・仲田遺跡）は、現地調査終了後に担当職員を中心にして引き続き整理作業を実施しており、仲田遺跡（印刷・刊行は平成15年度）を除く4遺跡は年度内に報告書を刊行しています。この他、平成13年度に実質的な整理作業を終了していた寺地遺跡・蔵ノ坪遺跡・奈良崎遺跡・岩倉遺跡については、報告書の印刷・刊行のみを行ないました。

なお、本年度は平成13年度に策定した整理計画により整理遺跡数が大幅に増加するため、埋蔵文化財センター内だけでは作業スペースの確保が困難と判断されました。このため、朝日村教育委員会の御協力により旧奥三面遺跡調査室の一部を借用して朝日分室を開設し、作業にあたりました。

### 平成14年度刊行報告書一覧

| シリーズNo.<br>発行日       | 遺跡名<br>所在市町村                 | 体裁<br>頁数    | 種別               | 主な時代・時期                      | 主な遺構                                          | 主な遺物                                      | 特記事項                 |
|----------------------|------------------------------|-------------|------------------|------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------|
| 第113集<br>H14. 6. 7   | 寺地遺跡<br>西頭城郡青海町              | A4版<br>85頁  | 散布地              | 縄文中・晩期<br>中・近世(15～19C)       | 土坑<br>土坑・掘立柱建物                                | 縄文土器・石器<br>陶磁器・銭貨・木製品                     | なし                   |
| 第114集<br>H15. 3. 31  | 岩倉遺跡<br>糸魚川市                 | A4版<br>65頁  | 散布地              | 中・近世(15～17C)                 | 方形区画遺構・礎石建物1                                  | 中近世陶磁器・木製品・石製品・<br>金属製品など                 | なし                   |
| 第115集<br>H14. 8. 30  | 蔵ノ坪遺跡<br>北蒲原郡中条町             | A4版<br>171頁 | 集落跡              | 古代(8C後葉～9C)                  | 掘立柱建物16・土坑36・溝139・<br>道路跡3など                  | 土師器・須恵器・木製品・土製<br>品・木簡など                  | 「少目」荷札木簡<br>「津」墨書土器  |
| 第116集<br>H14. 11. 15 | 奈良崎遺跡<br>三島郡和島村              | A4版<br>609頁 | 集落跡<br>墳墓<br>城館跡 | 弥生後期～古墳前期<br>中世(12C後半～16C)   | 堅穴建物13・周溝墓3・古墳2・掘<br>立柱建物33・地下式坑92・削平段<br>4など | 縄文土器・弥生土器・土師器・須<br>恵器・陶磁器・勾玉・管玉・振文<br>鏡など | 振文鏡                  |
| 第117集<br>H14. 12. 20 | 赤坂山中世窯跡<br>赤坂山B遺跡<br>北蒲原郡安田町 | A4版<br>141頁 | 窯跡<br>散布地        | 中世(13C中頃)<br>縄文中期            | 陶器窯2・木炭窯1など<br>焼土坑4                           | 中世陶器・焼台<br>縄文土器・石器                        | 瓷器系陶器窯               |
| 第118集<br>H15. 3. 7   | 上浦遺跡<br>新津市                  | A4版<br>147頁 | 集落跡              | 古代(7C末～10C前葉)                | 掘立柱建物8・土坑・溝・凹地遺<br>構・畝状遺構・ピット多数               | 土師器・須恵器・土製品・木製<br>品・金属製品                  | 古代の銅製素文鏡             |
| 第119集<br>H15. 3. 20  | 下割遺跡Ⅰ<br>中頸城郡板倉町             | A4版<br>107頁 | 集落跡              | 中世(13C後半～14C)                | 掘立柱建物14・土坑53・井戸24・<br>溝26・ピット409              | 中世陶磁器・木製品・石製品・金<br>属製品など                  | 区画溝に囲まれた<br>屋敷地      |
| 第120集<br>H15. 3. 20  | 北野遺跡Ⅰ(下層)<br>東蒲原郡上川村         | A4版<br>216頁 | 集落跡              | 縄文早・前期                       | 堅穴住居18・土坑53・掘立柱建物<br>2・焼土59・集石7など             | 縄文土器・石器                                   | 沼沢火山灰に覆わ<br>れ保存状態良好  |
| 第121集<br>H15. 3. 31  | 円山遺跡<br>北蒲原郡安田町              | A4版<br>153頁 | 集落跡<br>散布地       | 旧石器<br>縄文前～後                 | 旧石器ブロック3・集石土坑2<br>集石5・土坑5など                   | 台形様石器・ナイフ形石器など<br>縄文土器・石器                 | なし                   |
| 第122集<br>H15. 3. 31  | 道端遺跡Ⅱ<br>岩船郡荒川町              | A4版<br>78頁  | 散布地              | 縄文後・晩期                       | 土坑3・ピット1・遺物集中区3                               | 縄文土器・石器                                   | なし                   |
| 第123集<br>H15. 3. 31  | 沖ノ羽遺跡Ⅲ<br>新津市                | A4版<br>155頁 | 集落跡              | 古代(9～10C)<br>中世(12～14C)      | 掘立柱建物15・井戸18・土坑・溝<br>など                       | 土師器・須恵器・中世陶磁器・土<br>製品・鉄製品など               | なし                   |
| 第124集<br>H15. 3. 31  | 堀向瓦窯跡<br>上越市                 | A4版<br>96頁  | 窯跡<br>散布地        | 近世(17C後半～18C前<br>半)<br>縄文・古代 | 瓦窯2・土坑5・瓦捨場1<br>土坑2                           | 各種瓦・陶器<br>縄文土器・石器・土師器・須恵器                 | 連房式登窯<br>高田城使用の赤瓦    |
| 第125集<br>H15. 3. 31  | 関川谷内遺跡Ⅱ<br>中頸城郡妙高高原町         | A4版<br>110頁 | 散布地              | 縄文早～後<br>古墳・古代               | 土坑29・集石土坑5・集石2<br>掘立柱建物1・炭窯3                  | 縄文土器・石器・土師器                               | なし                   |
| 第126集<br>H15. 3. 31  | 浦廻遺跡<br>白根市                  | A4版<br>109頁 | 散布地              | 中世(13C後半～14C前<br>半)          | 土坑3・畝状遺構群2・足跡群                                | 木製品・木簡・人骨                                 | 「元応二(1320)<br>年」銘卒塔婆 |
| 第127集<br>H15. 3. 31  | 下沖北遺跡Ⅰ<br>柏崎市                | A4版<br>131頁 | 集落跡              | 中世(13～14C)                   | 掘立柱建物30・井戸25・方形堅穴<br>遺構4・土坑多数・溝2・ピット多<br>数    | 中世陶磁器・木製品・石製品・金<br>属製品など                  | 区画溝に囲まれた<br>屋敷地      |

## 連載企画・にいがたの文字資料から

## 第4回 — 中世の文字 —

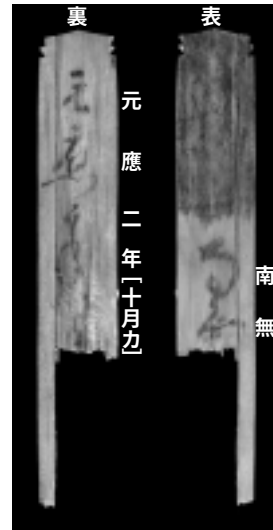
平成14年度の当事業団による発掘調査では、約500～900年前の中世（鎌倉・室町時代）の文字資料が出土しました。特に白根市浦廻遺跡では約100点の木簡が出土し、その中に「元応二年（1320）」という年号が見つかったことで、約700年前の遺跡であると分りました。墓標として使われたと思われる頭を黒く塗りつぶした卒塔婆（写真①）や、塔の絵が描かれお経の一部が記されたもの（写真②）など類を見ない木簡が見つかっています。塔婆類は僧侶によって書かれるので、種字という仏さまを示すマークのような特殊な文字も多く書かれています。人骨なども出土したことから、村はずれで葬送や病魔退散といった祭祀を行う場所であったと思われます。

中世では、村境に当る村の出入口というのは人や物だけでなく、災いをもたらし魔もの憑きものも一緒に入ってくる場所とも考えられていました。家や村に入り込もうとする魔ものは鬼と考えられ、家に入る鬼を追い祓う祭りは節分の豆まきとして今では行われています。一方、村境では、正月7日頃住職などにお経を読んでもらい、その経典名を木札に書いて吊すことで邪気を防ごうとするカンジョウマツリなどが行われていました。当然、年が改まると新しいものに付け替えられ、年の途中でも死者が出たり病が流行ると吊された木札は捨てられてしまうので、残らないはずですが、両津市の長安寺には偶然にもその木札が残っています（写真③）。また、神林村周辺を支配した色部氏という武士の年中行事の中にも、その具体的なやり方が分るなど、新潟県は古代・中世から連綿と続く伝統行事や文化をよく残している地域です。そのため、石川県金沢市で中世に実際捨てられた勧請板が木簡として出土した時には、県内の事例が大いに参考とされたようです。

連載の第1回目は、約1,500年前に日本に漢字が伝わったことから始めました。その神秘性ゆえに支配者が支配の道具として使った文字が、祭祀や墨書土器など日常生活の中から庶民に普及して行く様子を、4回の連載を通じてみてきました。古代では、貴族よりも一つ下の身分であった武士が実権を握ったことで文化も身分の壁を越え、次第に広がってゆきます。文字もその一つといえます。ある時は祭祀や供養を通じて僧侶から、またある時には各々違った文字が記されている貨幣を使い商人から、時には都から来た文学者などから文字を学び、人々は次第に慣れ親しんでいったと思われます。落語などでは、江戸の庶民が文字をほとんど知らなかったように描かれますが、借用書や領主への嘆願状など、日常生活の必要に迫られ文字を駆使していることが旧家に残る古文書から分ります。こうした文字の普及の流れを今年度のテーマとして連載してきましたが、平成15年度は新たな視点から新潟の文字資料を見ていきたいと思います。

節分に際し、「鬼は外」と無意識に発したセリフなど、日常生活の中の色々な事象の由来をたどり探求することから歴史は始まってゆきます。決して過去のものではなく、私達の身の回りに歴史は存在し続けているものなのです。

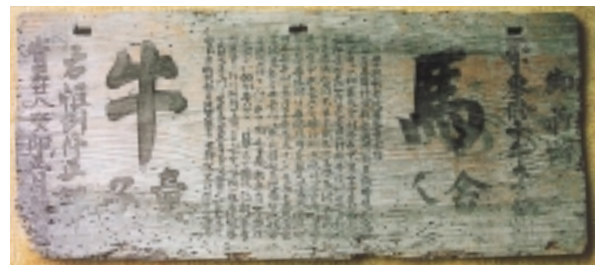
（田中一穂）



写真①  
年号が記された木簡



写真②  
多宝塔が描かれた木簡



写真③両津市長安寺に残る心経板  
（写真提供：両津市教育委員会）



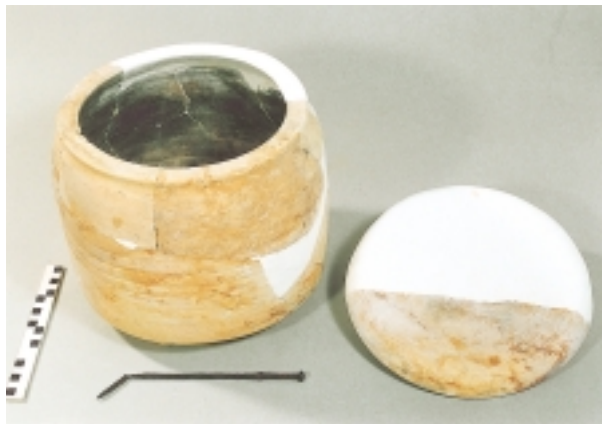
## 埋文コラム「発掘から見えてきた暖房具の歴史」

### 火鉢・手あぶり

火鉢は上部を開口した容器で、内部に灰を入れて炭火を置くような作りになっています。熱源の上に鍋・釜などを置いて使用するための装置がついたものもあり、加熱調理器具としての機能も備えていたようです。熱源も無駄にせず、大切に扱っていたのですね。上越市木田遺跡（平安時代・中世・近世）からは近世の火鉢が出土しています。底部四隅にかぎ型の脚が付く瓦器の火鉢で、畳を焦がさないために、このような脚を付ける工夫をしていたようです。同じく上越市高田城下鍋屋町遺跡（近世）からは日常生活に用いられた近世陶磁器類がたくさん出土している中、火鉢と、家屋を模した手あぶりの蓋が出土しています。これらはセットになると考えられます。蓋の内面の天井部にはススが厚く付着しており、火鉢にこの蓋を被せて暖を採っていた様子が目に浮かびます。



出土した火鉢（奥の二つ）と手あぶりの蓋（手前）



出土した火箸と火消壺蓋・火消壺

### 火箸・火消壺

火鉢類・焜炉類の熱源、煙草の着火に使う火入れ・香を聞くための香炉の火種としては、炭火が利用されることが多かったようです。これら炭火を扱う道具として、上記高田城下鍋屋町遺跡からは火箸が出土しています。この鉄製の箸は全長23cmあまりで、これを用いて炭火を取り扱っていたと思われます。また、密閉することができる蓋の付いた近世の壺が、新津市江内遺跡（奈良・平安時代・中近世）から出土しています。これは火消壺と呼ばれるものです。熱が弱くなった炭火をこの壺に入れて蓋をすることにより、酸素供給が遮断され、炭火を消すことができます。

### 温石

保温性の高い石類を火鉢などで熱し、その余熱を利用し懷を暖めていました。炭火などの熱源を内部に持っている懷炉が発明される以前はこのような温石が広く利用されていました。木田遺跡の18世紀後半から19世紀前半代の層からは、滑石を方形もしくは長方形の板状に加工したものが出土しており、温石ではないかとされています。また、今年度調査が行われた板倉町仲田遺跡（中世）からは、温石を硯に転用した遺物が出土しています。現在は携帯用の硯の形をなしていますが、小さな穴が穿たれています。温石として使用していた当時は、火箸をこの穴に引っ掛け、容易に取り扱うことができたでしょう。



木田遺跡出土の滑石製の温石



布に包んで使用したと思われる

〈引用・参考文献〉「図説 江戸考古学研究事典」柏書房株式会社 江戸遺跡研究会編集 2001

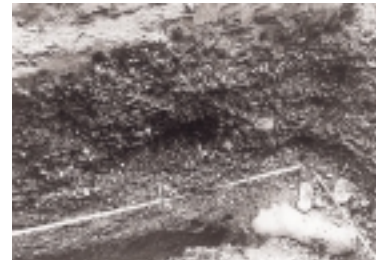
県内の遺跡・遺物 40

## ふじづか 藤塚貝塚 (昭和43年 県指定)

**遺跡所在地：**佐渡郡真野町大字新町字藤塚561番地

藤塚貝塚は、真野町大字新町の町並に接する標高約20mの段丘上に位置しています。この附近は、俗称藤塚（町営火葬場西北方）と呼ばれており、早くから土器片などが採集され、遺物散布地として知られていました。貝塚周辺は、2mにも及ぶ砂層が堆積していたため、貝塚の存在は全く予想されていませんでした。しかし、昭和42年、砂取り工事中にシジミを主体とする良好な貝層が見つかったことが藤塚貝塚発見のきっかけとなり、発掘調査も行われた結果、昭和43年には県指定の史跡となりました。

この貝塚を構成する貝殻は、サドシジミを主体とし、他に18種類の貝類や獣骨、魚骨、鳥骨なども相当数含まれていました。また、屈葬人骨1体分と22個の長骨及び骨破片も検出されており、県内では数少ない縄文人骨の貴重な出土例となっています。縄文時代中期末に形成された藤塚貝塚は、日本海岸の縄文時代の貝塚の中では、最も規模が大きく、良好な貝層をもつもので、この地で狩猟や漁労に従事した縄文人の生活を生き生きと物語る遺跡といえます。



堆積した貝層



屈葬人骨出土状況



藤塚貝塚全景 (写真提供：真野町教育委員会)

### 埋文にいがたNo. 42

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956-0845 新津市金津93番地1

TEL (0250) 25-3981 FAX (0250) 25-3986

e-mail: niigata@maibun.net URL: <http://www.maibun.net>

印刷 新高速印刷(株)